

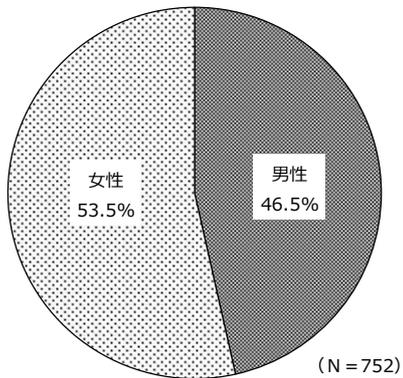
高校生アンケート調査の結果概要

1 調査実施要領

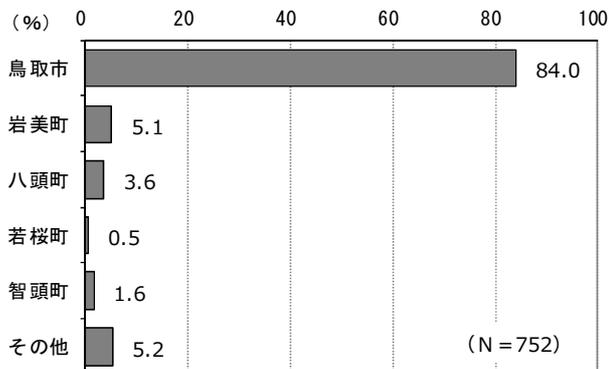
調査方法	鳥取市内の高等学校3校で3年生を対象にアンケート票を配布・回収
調査時期	令和元年7月
回答数	752件

2 回答者属性

(1) 性別



(2) 居住地域



3 主な集計結果

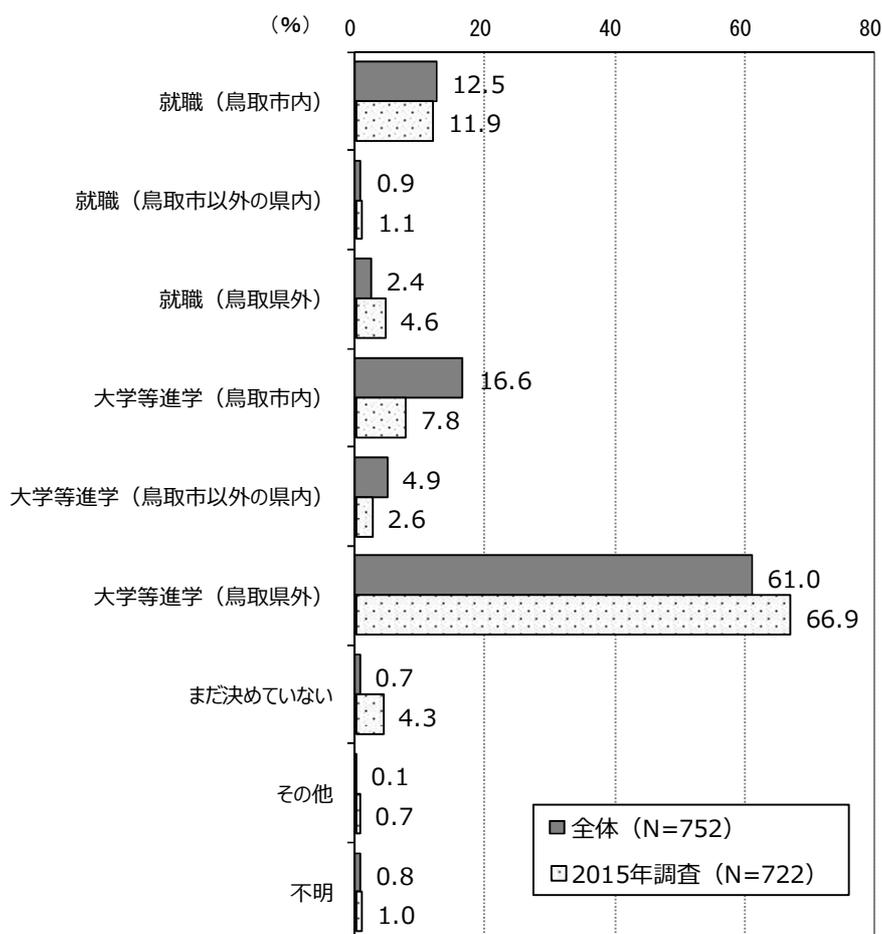
【卒業後の進路希望】

◇現在考えている進路について、全体の82.5%が大学等進学を検討している。このうち、「大学等進学（鳥取県外）」が61.0%となっている。一方、就職希望は全体の15.8%、このうち「就職（鳥取市内）」が12.5%で最も高い。

◇2015年調査と比較すると、「大学等進学（鳥取県外）」が最も高いことは変わらないが、前回より5.9ポイント低下している。一方で「大学等進学（鳥取市内）」が7.8%から8.8ポイント上昇し、「大学等進学（鳥取市以外の県内）」も増加している。就職希望についてみると、「就職（鳥取県外）」が若干低下し、「就職（鳥取市内）」が増加している。

総じて、前回との比較では鳥取市内あるいは鳥取県内への就職・進学への傾向が高まっている。

現在考えている進路／全体、2015年調査との比較

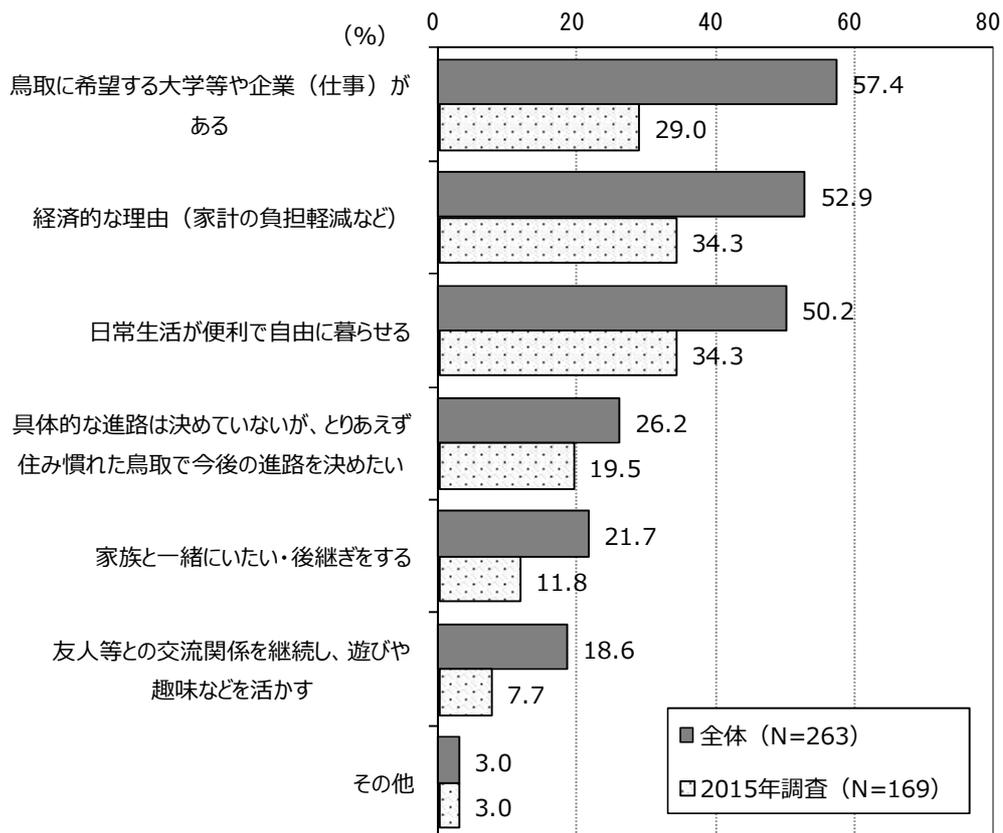


【県内へ就職・進学しようとする理由】

◇県内（市内）へ進学・就職しようと思う理由（複数回答）は、「鳥取に希望する大学等や企業（仕事）がある」が57.4%で最も高く、「経済的な理由（家計の負担軽減など）」（52.9%）、「日常生活が便利で自由に暮らせる」（50.2%）が続いている。

◇ 2015年調査と比較すると、上位3項目を中心に回答割合が高く、前回3位の「鳥取に希望する大学等や企業（仕事）がある」が大幅に増加し、1位となっている。また、前回1位の「経済的な理由（家計の負担軽減など）」と「日常生活が便利で自由に暮らせる」も高い回答割合となっている。

県内（市内）へ進学・就職しようとする理由（複数回答）／全体、2015年調査との比較

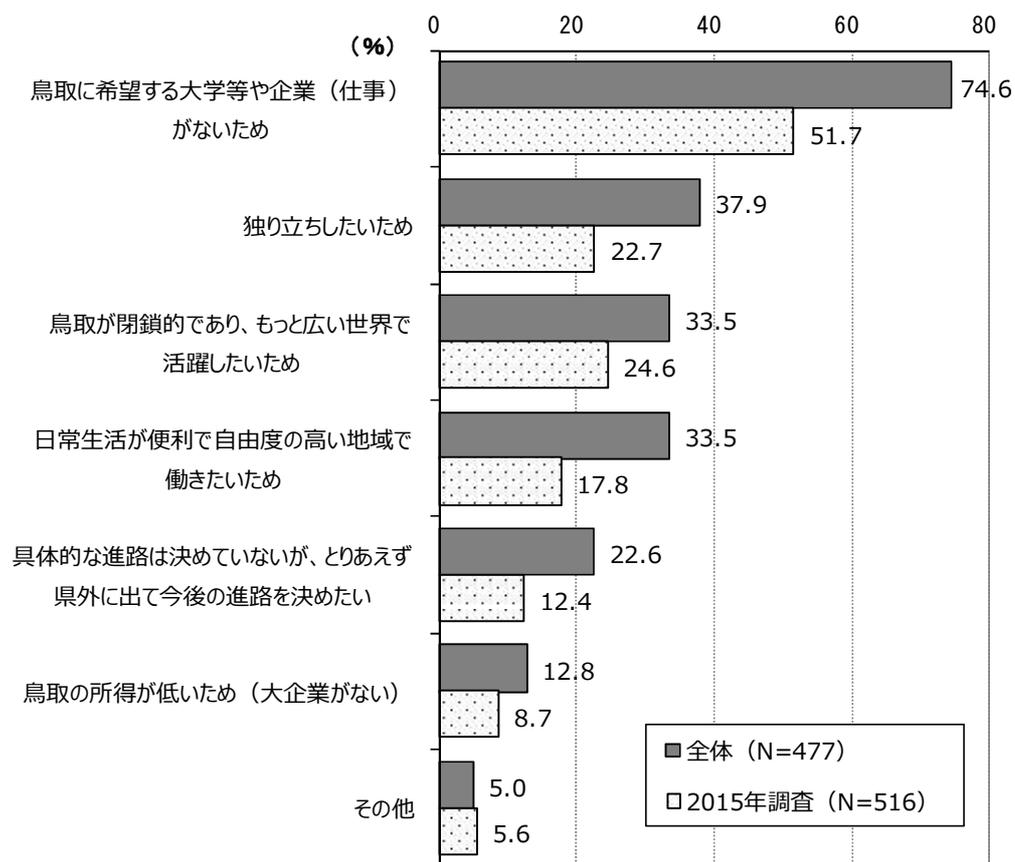


【県外へ就職・進学しようとする理由】

◇県外へ進学・就職しようと思う理由（複数回答）は、「鳥取に希望する大学等や企業（仕事）がないため」が74.6%で最も高い。これに、「独り立ちしたいため」（37.9%）、「鳥取が閉鎖的であり、もっと広い世界で活躍したいため」と「日常生活が便利で自由度の高い地域で働きたいため」（ともに33.5%）が続いている。

◇2015年調査と比較すると、回答割合の高い項目の順序に大きな変化はみられない。県外へ進学・就職しようと思う理由で、「鳥取に希望する大学等や企業（仕事）がないため」、「独り立ちしたいため」、「日常生活が便利で自由度の高い地域で働きたいため」の回答割合が大幅に増加している。

県外へ進学・就職しようとする理由（複数回答）／全体、2015年調査との比較



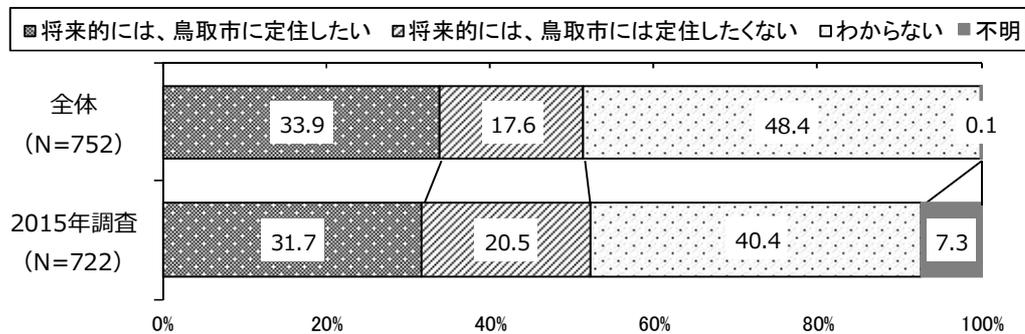
【将来的な鳥取市への定住意向について】

◇将来的な鳥取市への定住意向については「わからない」が48.4%で最も高く、次いで「将来的には、鳥取市に定住したい」が33.9%、「将来的には、鳥取市には定住したくない」が17.6%となっている。

◇男女別にみると、「将来的には、鳥取市に定住したい」割合は、男性が28.0%に対して、女性は39.1%と女性のほうが11.1ポイント高い結果となっている。また、「将来的には、鳥取市には定住したくない」割合は、男性(21.1%)が女性(14.4%)より6.7ポイント高い結果となっている。

◇2015年調査と比較すると、「わからない」の割合が増加したものの、「将来的には、鳥取市に定住したい」が2.2ポイント増加し、「将来的には、鳥取市には定住したくない」が2.9ポイント低下している。

将来的な鳥取市への定住意向／全体、2015年調査との比較



【鳥取市には定住したくない理由】

◇鳥取市には定住したくない理由は、「買い物・レジャー・交通手段など、日常生活に利便性が少ない」が67.4%と最も高い。次いで、「自分の能力を發揮できる広い世界で働き、暮らしたい」が43.2%、「所得が低く、雇用&就業機会が不十分で、暮らす上で不安定である」が33.3%という順になっている。

◇2015年調査と比較すると、回答割合の高い項目の順序に大きな変化はみられない。前回に比べ、「買い物・レジャー・交通手段など、日常生活に利便性が少ない」の割合が16.7ポイントと大幅に増加している。

鳥取市には定住したくない理由（複数回答）／全体、2015年調査との比較

